

1 石川県 中能登町議会

「能登半島地震における被害の概要と行政対応。復旧・復興の現状と課題。防災施策のに直し等具体例。発災後の議会对応について」

避難所で避難所では避難所運営マニュアルは機能せず、避難者が運営した普段から区長との連携が取れていたのも自主避難者の把握はスムーズに出来た議会の対応として八歳直後は町の動きを邪魔しない 個々の議員が動くことを控えた  
その後の議会運営では一般質問の自粛、議会だよりの停止などをした  
議案審議では専決事案が多かったため説明を求めた

2 石川県羽咋市 JA はくい 営農部のと里山農業塾

「有機農業実施計画の概要と課題。農地の担い手確保の現状と展望。慣行農業従事者との共有。行政との共同について」

自然栽培農法の普及、自然栽培農家の育成などには大きな情熱をもって取組み、羽咋農産品のブランド化に貢献していて素晴らしい取組みであった 核となっている方の情熱に追っているところが大きいと感じた  
目指す耕作面積や農業収入は食べていける程度であって、慣行農業者は従来の農業をしているようだった  
慣行農業者の理解をどう得るかが課題と感じた

3 福井県 あわら市議会

「行政DX推進における現状と課題。DX推進事業の概要と各分野での具体施策について」

トレンドマイクロ社との連携協定や PlanetwayJapann 社の代表取締役平尾氏をあわら市 CDO の迎えるなど外部民間の力を活用して行政のデジタル化はかなり進んでいた

4 福井県池田町 ウッドラボ池田

「林業振興について。ウッドラボ池田の視察他」

「便利な暮らし」「買う暮らし」ではない「池田町の生き方」を大事にしつつ、木望の森を作ることが未来の池田町育てていくことになるとして策定された「木望の森100年プロジェクト」は池田町の山づくり森林づくりに掛ける思いがよく出た素晴らしいものであった

そのプロジェクトの一環で設置されたウッドラボ池田は木工技術者の教育養成や木材利用の拡大を目指して活動しており、全国から生徒が集まっていた 説明してくれた講師の女性は上松の技術専技術専門校出身で長野県に友達も多く長野県のファンのように親しみを感じた